

旭化成がスウェーデン製薬企業の買収を決定—直ちに格付に影響せず

以下は、旭化成株式会社（証券コード：3407）が、スウェーデンの製薬企業の買収決定を発表したことに対する、株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は28日、スウェーデンの製薬企業である Calliditas Therapeutics AB（Calliditas 社）を株式公開買付けにより買収することを決定したと発表した。公開買付けは7月18日から開始される予定で、Calliditas 社の発行済普通株式の総数を総額約118億スウェーデンクローナ（約1,739億円）で取得、完全子会社化することを目指す。Calliditas 社の主力製品である Tarpeyo は、持続的な腎障害と腎不全を引き起こす希少疾患である原発性 IgA 腎症に対し、病状の進行を防ぐことが示された、現在承認・販売されている唯一の医薬品である。腎疾患領域では、当社が20年1月に買収した Veloxis 社の Envarsus XR（腎移植手術患者向けの免疫抑制剤）が米国で順調に売上高を拡大させており、今回の買収は当社の米国医薬事業の同領域におけるプレゼンス向上を企図するものとなっている。
- (2) 中長期的な成長に向け、当社では近年、積極的な投資が行われており、従前に比べ有利子負債が増加している。先般発表された車載 LiB 用セパレータのカナダ工場建設に加え、今回の買収でも相応の資金負担が発生すると見られる。ただ、①当社の24/3期末自己資本は1.8兆円、同 DER は0.51倍と財務基盤は健全で、一定のリスク耐久力を有する。②今後のポートフォリオ変革における事業売却なども含め、財務構成は中期経営計画の方針に沿って適切にコントロールされると考えられる。③今回の買収案件は26/3期にはのれん等償却後で黒字化を見込むなど、早期の業績貢献が計画されている—ことなどから、JCR では本件の発表をもって格付を直ちに直視する必要はないと判断した。JCR では今後、本件買収の帰すうや買収後の財務改善の取り組み、本件を含めた成長投資などで業績を早期に成長軌道に戻せるかに注目していく。

（担当）殿村 成信・藤田 剛志

【参考】

発行体：旭化成株式会社

長期発行体格付：AA

見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル